

圧縮空気圧

性能上効果的な供給圧力は5～8 kg/cm²です。
 圧力が低くなると、風量が少なくなり、冷風の温度が高くなります。
 エアー配管上には、水分や塵等を分離するフィルターを取り付けて下さい。
 (40ミクロン以下)
 フィルターを使用しない場合は、塵等で機能が低下し、圧縮空気中に含まれる水分が凍結する恐れがあります。
 ☆専用フィルター(型式=9003)は、20ミクロンの空気を濾過します。

配管寸法

圧力が下がり過ぎないように、配管の寸法を正しく決めることは、非常に大切です。

距離	3 m		15 m		30 m	
	パイプ	ホース	パイプ	ホース	パイプ	ホース
種類						
径	6.4mm	10mm	9.5mm	13mm	13mm	16mm

使用上の注意

- ① 人体には決して冷気を当てないようにしてください。
 ☆-40℃に迄なります。
- ② 圧縮空気の熱交換は瞬間的に行いますが、本体(金属部分)とのヒートシンク作用により、最低温の冷気が出るまでには約1分かかります。
- ③ 冷気をできるだけ対象物に近づけて御使用下さい。
- ④ 凍結した場合には、冷気の流量が減ったり全くなったりします。
 この場合は、下記を参照下さい。
 *下記項目(c)は、連続作動中に完全に凍結を回避できる方法です。

『コンポ-ネントクーラーが正しく機能しない場合』

- | | |
|---------------|---|
| (1) 冷気マフラーの緩み | 冷気マフラーが緩むと機能低下の原因のなります。必ず、冷気マフラーはしっかり止めて下さい。 |
| (2) 供給圧力 | 圧縮空気の供給圧が低いと性能が低下致します。適切な圧力は5～8 kg/cm ² です。作動中に本機の入口の所で圧力を計って下さい。 |
| (3) 供給空気温度 | 本機は供給空気の温度から温度を下げるようになっています。
圧縮空気の配管が天井の中、炉の近く、直射日光の中等を通る場合、給気の温度が周囲の温度より高くなり、効果適な冷気が出ない場合があります。長時間連続して本機を作動させていると、凍結して出口を塞いでしまうことがあります。 |
| (4) 冷気流量 | |

《凍結した場合は次の処置を行って下さい。》

- a. 圧縮空気の供給を止めて、冷気マフラーにエアーガン等を使って空気を送り込んで下さい。
- b. 数分間、圧縮空気をオフにして解凍して下さい。
- c. 大気中の露点が-40℃以下の乾燥空気を使用して下さい。